

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名	地球市民かながわプラザ		
所在地	横浜市栄区小菅ケ谷一丁目2番1号		
サイトURL	http://www.earthplaza.jp/		
根拠条例	神奈川県立地球市民かながわプラザ条例		
設置目的(設置時期)	子供の豊かな感性をはぐくむとともに、県民の国際的理解並びに国際平和及び地球的規模の課題への認識を深めることにより地域から行動する意識を高め、併せて国際交流活動及び国際協力活動を支援するための施設。(条例施行日：平成10年1月1日) (開館日：平成10年2月1日)		
指定管理者名	(公社)青年海外協力協会		
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	施設所管課	国際課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はA評価、利用者の満足度及び収支状況はS評価となったため、3項目評価はS評価となった。</p> <p>提案に基づいて、展示学習事業・展示企画事業などの学習センター事業、ライブラリー事業・外国籍県民支援事業などの情報・相談センター事業、NPO等活動支援事業などのサポート・ネットワーク事業のプラザの3つの事業を適切に実施し、過去最高の421,094名の利用者数を記録した。また、施設の維持管理についても適切に行い、利用者から施設全体の印象について高い評価を得ている。平成28年度は、第3期指定管理期間(5年間)の初年度として、好調な滑り出しとなった。引き続き、施設の管理運営をきめ細やかに行うとともに、好調な利用状況を維持することを求めたい。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、学習センター事業などプラザの3つの事業実施に努め、過去最高の利用者数421,094名を記録する実績をあげた。維持管理業務も適切に実施しており、施設の全体的な印象について施設利用者から高い評価を得ている。</p> <p>◆利用状況 子どもから大人までを対象にした事業の企画や関連企画の実施、ホームページ・チラシ等による広報活動に積極的に取り組んだ結果、利用者数が目標達成率108.0%となり、A評価となった。前年度対比では4.4%のプラスとなっており、利用状況は好調である。</p> <p>◆利用者の満足度 11月に利用者満足度調査(詳細アンケート)を実施し、上位2段階の回答割合が99.8%となったためS評価となった。アンケートの実施については、受付や事業参加者への配布、利用者への声掛けによる配布を行っているが、利用者数の伸びに比べ、回答数は平成27年度よりも減少していることから、アンケートの実施に際し、より多くの利用者から回答してもらえるように取り組んでもらいたい。</p> <p>◆収支状況 好調な利用者数を理由として31,992千円の利用料金収入があった(前年対比103.4%)。節電等省エネや業務の効率化、経費節減に努めており、当初予算比で光熱水費△8,989千円、人件費△7,941千円、賃借料△2,508千円などとなっている。収支差額が29,301千円のプラス(収支比111.7%)となったためS評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 展示室の照度にかかる要望に対し、スポットライトをLED化する、また、冷房が寒いという要望に対し、利用者の声に応じて柔軟に温度調整するなど、要望への迅速な対応を図り、サービスの着実な向上につなげている。</p> <p>◆事故・不祥事等 ファンタジー展示室のトランポリンにおける衝突等の事故があった。事故発生に際し、応急措置を講じたり、救急車を手配したりするなど適切に対応し、県への報告も迅速に行っている。一義的には指定管理者に責任がある事故は起きていないが、事故後に各部署への周知・注意喚起などに取り組んでいる。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 平成28年度の3項目評価についてはS評価とした。引き続き、施設の管理運営をきめ細やかに行うとともに、好調な利用状況を維持することを求めたい。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	—
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	平成29年5月22日・23日 及び原則毎月第2木曜日	—
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容
		—

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>(1) 学習センター事業</p> <p>A 展示学習事業 子どもから大人まで幅広い年齢層にプラザの理念や趣旨を魅力的に伝え、家族連れや友達同士で楽しく学べる充実したプログラムを提供。週末の利用人数が多い時間帯に、世界の遊び、言葉、衣装といったテーマのプログラムをプラザ職員と展示運営ボランティアによって実施。 ファンタジー展示室では、地球市民意識の基礎となる豊かな感性を育てるために、幼児を対象に合唱や音楽に合わせた体操、絵本の読み聞かせ等を行う。</p>	<p>事業計画に沿って、週1回以上開催。 ・やってみよう！世界の遊び、考えよう！世界の今等の展示学習プログラム計85回、 ・地球市民意識の基礎となる豊かな感性を育てるため、未就学園児を対象にわらべ歌やリズム遊び、絵本の読み聞かせ、工作プログラム等のファンタジープログラム36回を実施した。</p>	<p>プラザの平成28年度の施設利用者数は421,094名と開館以来最高を記録した。指定管理者が子どもから大人までを対象によく事業を企画し、施設の管理運営を適切に行ったことの積み重ねによるものであると受け止めている。(以下の欄について同じ)</p>
<p>B 展示企画事業 世界の伝統文化、環境、平和、地球規模の課題などに焦点を当て、楽しく学び、豊かな感性を育む企画展を開催。</p>	<p>年間を通じて6テーマ、会期延べ275日間(41,683名参加)の展示企画事業を実施。幅広い層を対象とした「ナショナル ジオグラフィック展」(来場6,368名)や、オリンピック開催に合わせ、田中克佳写真展「麗しき街ーリオデジャネイロ」 「集まれアミーゴ！リオdeキッズ広場」(来場12,484名)などを実施した。</p>	
<p>C 映像ホール事業 子どものための映画会を夏休み冬休みなど長期休暇を利用し継続的に行い、更なる映像ソフトの充実を図りながら、校外学習や大人を対象に映像ライブラリー所蔵のビデオ・DVDを活用した事業を展開。</p>	<p>年間延べ154日上映(12,191名鑑賞)。月に1回、土曜日または日曜日の日中に、開発途上国を題材に扱った作品や、環境や貧困など地球規模の課題をテーマにした映画を上映するアースシアター、高齢者をターゲットに名作映画を上映する月曜上映会、子どもたちの春夏秋冬休みのこども映画会、企画展に関連するテーマの作品の上映、校外学習受入れ時の作品上映を実施。</p>	

<p>D 交流交歓学習事業 小中学生から大人までを対象にした参加型ワークショップを実施する。各テーマごとに年間4～6回のシリーズで事業展開。</p>	<p>交流交歓学習事業に参加する子どもたちが、地球市民の一人としての自覚に目覚めるようなワークショップ「世界の教室」・「世界の文化」を実施。在住外国人をゲストに招き、参加した子どもたちが相互交流を通じて互いの「共通点」と「違い」に気づき、相対的な世界観を養える内容とした。また、文化紹介プログラムとして、楽器や踊り、工作などのワークショップも実施した。年間12回(874名参加)</p>	
<p>E 地球市民学習事業 地球市民学習事業は、幅広い年齢層を対象に、世界的、社会的課題について広く周知し、地球に住む一人として、それらの解決に必要な素養を身につけることを目指すことを目的とする。県民のより広く且つ深い課題の理解につながるよう、工夫したプログラムを年に6回実施。開催中の企画展示の内容とも関連付けをし、展示とともに講演によって、より理解を深める取組を行う。</p>	<p>世界的、社会的課題について広く周知し、地球に住む一人として、それらの解決に必要な素養を身につけるよう、「あーすぷらざトークセッション 宮本エリアナ×ロバート・ハリス～自分らしい選択をするために大切なこと～」(多文化共生について)、「2050年のカオハガン島への望み」(持続可能な島づくりについて)などのセミナー、講演会等を年間9回実施した(882名参加)。</p>	
<p>F ビエンナーレ国際児童画展開催 絵画を通じて、こどもたちの夢と創造力を育み、神奈川のこどもたちに世界を、世界の子どもたちに神奈川を紹介し、国際理解と国際交流の推進を図る。今年度は、第19回展に向けて、国、県などの各自治体や、国際協力機関と連携を図りながら作品の応募を実施。</p>	<p>第19回展開催までの事前準備 ・平成28年4月：募集要項、ポスターチラシ等募集に係る広報物作成 ・平成28年5月～6月：募集要項、ポスターチラシ等募集に係る広報物の海外県内発送 ・平成28年9月から11月：作品応募受付到着後の作品仕分け作業 応募点数24,572点 (県内：3,161点、海外21,411点) ・平成29年1月から2月：予備審査、本審査及び特別審査会の実施 入選・入賞点数 県内：130点、海外389点</p>	
<p>G 展示運営・展示ボランティアの運営 プラザの設立目的である「こどもの豊かな感性の育成」、「地球市民意識の醸成」、「国際活動の支援」を達成するために常設展示室を良好に保ち、入館者へのサービスをボランティア活動等により充実させる。</p>	<p>常設展示室入館者(年間71,708名)に対する展示案内をはじめ、安全管理、展示室内の展示物の整理等を通して地球市民学習の場として活用される運営を行った。その他、国際平和展示室の展示内容を補完する特別展示として「わたしたちの暮らしと戦争」を実施し、あーすぷらざ収蔵品を横浜空襲～終戦の日にかけて展示した。 ・展示ボランティア登録者数51名</p>	

<p>H 校外学習の受入等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員等からの校外学習相談への対応 ・利用前後及び利用当日の学習指導案作り ・プラザ施設を活用した体験的な国際理解教育、平和教育プログラム等の実施等 ・学習資料等の作成など受入れ促進の実施 ・海外の途上国で活動した青年海外協力隊ボランティア体験談や国際理解等に関わるワークショップの実施提案。 	<p>次代を担う子どもたちに世界の多様な文化、地球的規模の課題などへの認識を深めてもらうため、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校等からの校外学習の受け入れを行った。</p> <p>年間総計174校 7,122名</p>	
<p>I その他、提案事業</p> <p>A アウトリーチ事業</p> <p>①神奈川県環境保全への理解の促進</p> <p>②国際理解教育出前講座</p> <p>I その他、館内実施事業等</p> <p>①「あーすぷらざインフォメーションツアー」</p> <p>②「キャンドルナイトinあーすぷらざ」</p> <p>③世界のお化け大集合仮装deハロウィン</p> <p>④緑のカーテンプロジェクト</p> <p>⑤「世界遺産写真展～県民がみた世界遺産」</p>	<p>I その他、提案事業</p> <p>A アウトリーチ事業</p> <p>①かながわ水源の森林づくり定着型ボランティア事業連携</p> <p>松田町で森林保全・環境保全についての理解を促進するための森林体験プログラム等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年11月6日（日）参加17名 <p>②「あーすぷらざ出前講座」</p> <p>プラザ訪問が難しい県内等の学校への出前講座。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7校（8回）635名参加 <p>I その他、館内実施事業等</p> <p>①あーすぷらざわくわく探検ツアー</p> <p>隔週で月2回土日にプラザの案内を実施。国際理解や多文化理解につなげる。（1,103名参加）</p> <p>②キャンドルナイト@あーすぷらざ</p> <p>キャンドルを見つめながら、平和などを思う静かな時間を過ごすイベントを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年11月13日（日）596名参加 <p>③仮装deハロウィンキッズキスタンプラリー2016</p> <p>10月下旬のハロウィンに合わせて、仮装パレードなどを実施。地域との交流の機会にもなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年10月30日（日）1,818名参加 <p>④緑のカーテンプロジェクト</p> <p>温暖化対策として、実施。成長過程を報告するとともに、収穫物でのイベント（A展示学習として実施）を実施するなど、来館者とともに環境について考え、実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年5月8日（日）26名参加 <p>⑤については、B展示企画事業にて実施</p>	
<p>J インターンシップ／教員研修事業</p> <p>プラザ事業に対する理解を深めてもらうため、高校生・大学生のインターンを受け入れ、職場体験の機会を提供する。</p>	<p>J インターンシップ／教員研修事業</p> <p>①インターンシップ</p> <p>中学校：4校（13名）、高校3校（4名）、大学：6校（9名）</p> <p>②教員社会体験研修</p> <p>県立横浜明朋高等学校ほか10校（12名）</p>	

<p>(2) 情報・相談センター事業 A ライブラリー事業 大人が地球市民意識を醸成し、多文化共生及び国際交流・協力活動を学ぶための図書や映像などの資料を揃えると共に、子どもが絵本や雑誌及び映像に親しむために工夫を加えたライブラリー運営を行う。</p>	<p>(2) 情報・相談センター事業 A ライブラリー事業 ・映像ライブラリー利用者数 45,976名 ・図書の収集・貸出 蔵書数 40,365冊 貸出登録者数 17,625名 館外貸出数 11,120点 ・ビデオ・DVDの収集・視聴サービスの提供 所蔵数 2,420点 視聴本数 6,110本 視聴利用者数 8,033名 ・こどもコーナー 子ども向けに多言語読み聞かせなど計14回 657名参加</p>	
<p>B 外国籍県民支援事業 これまでの事業運営を基本に、他の支援団体、民間団体との連携を十分に図り事業運営を行う。また、外国人住民の支援につながるような自主事業、共催事業を企画し実施。</p>	<p>B 外国籍県民支援事業 ・外国籍県民支援のための情報収集整理 ・外国籍県民相談事業(一般・法律) 【相談窓口事業(3箇所、6言語)】 相談件数：一般1,220件(3箇所)、法律136件(2箇所) 相談機関連絡会2回開催 県内の相談員対象の研修会5回開催(受講者189名) ・外国籍県民相談(教育) 【相談窓口事業(1箇所、やさしい日本語を含む5言語)】 相談件数1,530件(1箇所) ・総合的な日本語学習等支援センター事業 教材・情報の収集、提供 フィールドワーク受入事業(4回実施参加49名) アウトリーチ支援活動(出前講座2回開催参加115名)</p>	
<p>C 広報・情報発信事業 ・プラザ施設案内、各種事業や地球市民学習に役立つ情報を掲載した広報物の発行など(年3回機関紙発行、月2回程度のメルマガ、催し物の案内やチラシなどの作成及び配布)。 ・ホームページ運営など</p>	<p>・ホームページアクセス数年間331,337件 ・新聞、タウン誌等広報掲載132回 ・プラザ壁新聞(機関紙)年3回発行(A2判 3,500部/回) ・催事案内チラシ(月1回A4 4,500～5,500部、館内用ポスター) ・広告(かながわ県民センター広告スペースへのポスター掲示、WEB広告) ・メールマガジン(月1～2回、読者数142名)</p>	

<p>(3)サポート・ネットワーク事業 A NPO等活動支援事業</p>	<p>・NPO等が実施する企画・事業をサポートし、プラザの設立 趣意に合致する事業に対し、活動場所の提供や広報・PR等を支援。 共催事業(6団体)、「あーすフェスタ かながわ」運営参画など (参加5,086名) ・NPO等専用の打合せ等のための無料スペースの提供 情報フォーラムスペース登録33団体 (7,895名利用) 情報フォーラム利用者数 44,802名※</p> <p>※ 情報フォーラムでは、上記「(2) 情報・相談センター事業」の「B 外国籍県民支援事業」の利用者数も含む。</p>	
<p>B NPO等のための事務室運営事業 ・利用団体の活動状況の把握 ・利用団体の活動支援 ・新たな公募および選考</p>	<p>非営利で公益的な活動、とりわけ国際協力、国際交流、多文化共生を育むことを主な目的とした活動をする団体に、活動の場(共同の事務所スペース)を提供。 ・入居6団体 (事務室利用日数282日、利用1,331名) ・新規募集 ・入居希望者の選考委員会の開催など</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容※	実施状況等
<p>平成29年に第50回アジア開発銀行年次総会が横浜で開催されることを契機に、横浜市栄区民がアジアへの興味を持つとともに、国際理解を深める機会とする。</p>	<p>平成28年度栄区国際事業との共催事業(自主事業) 江戸×アジアから学ぶ究極エコライフ ・平成28年12月3日(土) 参加人数120名</p>

※ 基本協定第63条第2項による申請内容

5. 利用状況

評価	《評価の目安》
A	<p>目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。</p>

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	381,104	403,392	421,094
対前年度比		105.8%	104.4%
目標値	306,000	385,000	390,000
目標達成率	124.5%	104.8%	108.0%

目標値の設定根拠：

かながわグランドデザイン

利用者数の算出方法(対象)：

常設展示室観覧券発券枚数、貸出施設利用申込人数(貸出施設のうち映像ホール等を事業で利用する場合は入場者数)、図書・映像資料貸出等処理件数、フォーラム等定点観測(4～6回/日)、NPO等のための事務室(利用簿の利用者数)。

[参考：最大利用可能人数／年]

	プラザホール (最大)	映像ホール	会議室	多目的室	創作スタジオ	合計
定員	358	125	78	55	40	
年間利用可能日数	348	350	359	359	359	
最大人数※	124,584	43,750	28,002	19,745	14,360	230,441
稼働率	56.6%	67.7%	95.0%	89.7%	97.8%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

※2 稼働率は、使用日数により算出。

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	第3四半期に実施。来館者や事業参加者にアンケート用紙を配布。	平成28年度は4段階評価により実施し、概ね高い評価を得ている。指定管理者が子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とする事業実施に配慮したことや適切な施設の管理運営に努めたことが評価されたものと思われる。

[施設としての総合的評価]

質問内容 あーすぷらざ全体の印象

実施した調査の配布方法 受付配布、事業参加者・利用者、直接配布 回収数／配布数 476 / =

配布(サンプル)対象 事業参加者、施設利用者

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	「とても良い」又は「大変悪い」に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	225	193		1	0	419	「とても良い」きれいでとても楽しかった。
回答率	53.7%	46.1%		0.2%			
前年度の回答数	235	201	20	1	1	458	
前年度回答率	51.3%	43.9%	4.4%	0.2%	0.2%		
回答率の対前年度比	104.7%	105.0%		109.3%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 接客対応

実施した調査の配布方法 受付配布、事業参加者・利用者、直接配布 回収数／配布数 476 / =

配布(サンプル)対象 事業参加者、施設利用者

	満足	どちらか といえば満足	普通	どちらかとい えば不満	不満	合計	満足、不満に回答があっ た場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	339	133		3	1	476	[満足] 丁寧で印象は とても良い。 [不満] 受付の対応が 細かい。
回答率	71.2%	27.9%		0.6%	0.2%		
前年度の 回答数	302	115	64	1	0	482	
前年度回答率	62.7%	23.9%	13.3%	0.2%			
回答率の 対前年度比	113.7%	117.1%		303.8%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	268,595	20,857	1,024	物品販売268 バナー広告等 収入756	290,476	290,476	0	100.00%
	決算	268,595	29,720	418	物品販売等 418	298,733	290,343	8,390	102.89%
前年度	当初予算	268,595	20,857	1,024	物品販売268 バナー広告等 収入756	290,476	290,476	0	100.00%
	決算	268,595	30,931	522	物品販売等 522	300,048	286,381	13,667	104.77%
28年度	当初予算	246,860	28,392	700	物品販売450 映画上映200 有料ワーク ショップ50	275,952	275,952	0	100.00%
	決算	246,860	31,992	1,423	物品販売1213 映画上映60 出前講座149 など	280,275	250,975	29,300	111.67%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

28年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

(平成28年度の当初予算と決算額の支出について)
光熱水費△8,989千円(省エネ、燃料調整による減)、人件費△7,941千円(主に業務効率化による超過勤務の減)、賃借料△2,508千円(再リース契約による減)など

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
H29.3	2,484	5号機エレベーターモーター駆動装置等修繕工事

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 1000千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入	0	
支出	0	
積立	0	

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	簡易 アンケート	8 件	5F常設展示室を子どもと利用したが、全体的に暗いので子ども用に明るくしてほしいといった設備に関する要望や、冷房の温度管理への苦情。	展示の性質上照明を暗くしているが、順次スポットライトをLEDに変更した。また、冷房の温度設定については、利用者からの求めに柔軟に対応している。
		件		
職員対応	簡易 アンケート	0 件	該当なし	
		件		
事業内容	簡易 アンケート	0 件	該当なし	
		件		
その他	簡易 アンケート	1 件	ぬり絵のクーピー（色鉛筆）が短くて書きにくいようです。長めのものを用意いただけると助かる（ファンタジー展示室ぬり絵コーナー）。	小さいお子様も楽しく安全に利用いただくため、状況を確認しながら順次長いものに交換している（長いものは必ず折られてしまうがその度交換している）。
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容及び負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
7月29日	① 1階ラウンジ前で、子どもが突然倒れ、ぐったりしていたため、両親の友人が救急車を呼ぶとともに、指定管理者の事務室に通報。両親同行により病院に搬送された。 ②同日に報告書及び電話にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③～⑥該当無
8月30日	① 5階ファンタジー展示室のトランポリンで遊んでいた子どもどうし（家族）が頭をぶつけ、片方の子どもに頭痛・吐気があったため、救護室で様子を観たのち、救急車にて病院に搬送された。 ②（指定管理者による経過確認後）翌日に報告書及び電話にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③（指定管理者の対応）安全監視スタッフを配置するなど展示室での安全管理を講じているが、事故の状況を担当課に周知の上、多人数がトランポリン下やファンタジー展示室全体に集中する場合、先に他の施設に誘導する等、極力人数の集中を避ける工夫をしている。 ④～⑥該当無
9月4日	① 5階ファンタジー展示室のトランポリンで遊んでいた子どもが左腕を捻る。指定管理者が患部を冷やすなど対応後、両親の車にて病院に行かれた。 ②（指定管理者による経過確認後）翌日に報告書及び電話にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③（指定管理者の対応）安全監視スタッフを配置するなど展示室での安全管理を講じているが、事故の状況を担当課に周知の上、警戒を呼び掛ける。 ④～⑥該当無
11月25日	① 1階会議室で利用者が健康診断を実施していたところ、受診者が採血後に椅子から転落し、頭部を打撲したため、健診担当者から指定管理者に通報があった。状況を把握している健診担当者が119番通報するとともに、救急車到着までの対応を行われ、その後、救急車により病院に搬送された。 ②同日夜に報告書を受け、その後、電話にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③～⑥該当無
1月22日	① 2階プラザホール前にてニューイヤーコンサートの会場整列中に男性が座り込み、貧血症状に伴う蒼白状態と冷や汗が認められ、その他吐気を訴えた。指定管理者が発見し、状況確認後、119番通報と共に、その場にて安静を心掛けた。その後、救急車により病院に搬送された。 ②同日に報告書を受け、その後、電話にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③～⑥該当無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。